

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休み)
午前 9:30～午後 3:30

No.230 2017年1月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
富山県身体障害者更生相談所内
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086
発行責任者 中 秀晃
編集 集 坂田 祐美
定価 50 円(会費に含む)

新年のご挨拶

会長 池田 充

明けましておめでとうございます。寒い日が続きますが、皆さん体調はいかがでしょう。昨年地震や台風に伴う洪水などの自然災害が全国のあちこちで起きました。一度大きな災害が起きて、避難しなければならなくなった時、私たちは最低 3 日間自助努力する必要があります。そのためにも日ごろから、日常の体調管理に気をつけていく必要があります。

少し昨年の活動報告をいたします。県内にある透析医療機関(40ヶ所)を順次訪問し、院長先生と意見交換をさせていただきました。そこで腎友会の活動を説明し、患者会活動に理解をお願いいたしました。一方、院長先生方からは、病院が抱えている諸問題について忌憚のない話をさせていただきました。その結果、これからの患者会活動を推進していくためには、互いに協力していく必要性を感じました。

現在、医療・介護・年金などの社会保障が財源確保の問題から、削減の方向に進んでいます。社会保障審議会医療関係部会では、高齢者への高額療養費制度の見直しがすすめられており、このままいけば近い将来、透析医療費の自己負担が増えていくことが想定されます。

これからも安定した透析治療・透析生活を維持していくために、私たちは今まで以上にお互いに力を合わせ、一人でも多くの声で訴えていかなければなりません。今後とも皆さんのご助力をお願いしまして私の新年の挨拶とさせていただきます。皆さんのご多幸を心よりお祈りいたします。



富山県内の透析患者数2,506人に

昨年6月9日から12日に大阪市で開催された、第61回日本透析医学会学術集会・総会の統計資料によりますと、2015年末現在の透析患者数は全国で324,986人、その内富山県は2,506人(前年末は2,510人)であることが分かりました。

富山県腎友会では、年間を通じて会の組織率を割り出す際、この患者数を基準とし推定しています。昨年11月末現在では、会員数1,266人、組織率50.5%になります。

【2015年末 富山県の透析治療の形態別患者数】

血液透析 等					腹膜透析 等					計
血液透析 (HD)	血液透析濾過 (HDF)	血液濾過 (HF)	血液吸着透析	在宅血液透析	腹膜透析 (PD)	週1回のHD(F)等と併用	週2回のHD(F)等と併用	週3回のHD(F)等と併用	上記以外の併用	
2,092	286	0	18	2	90	15	3	0	0	2,506

全国的にも、血液透析(HD)は258,374人(79.5%)と最も多く、血液透析濾過(HDF)は55,333人(17.0%)、在宅血液透析は572人(0.2%)、腹膜透析は9,322人(2.9%)などとなっています。

また、透析導入患者の主要原疾患について、1998年以降、糖尿病性腎症が慢性糸球体腎炎に替わって原疾患の第一位になっており、2015年末では全体の43.7%、慢性糸球体腎炎は16.9%、腎硬化症14.2%、多発性嚢胞腎2.6%などとなっています。

国会請願署名・募金について

毎年会員の皆様にご協力いただいている署名ならびに募金は、腎臓病患者の医療や生活を守るためにとても大切な活動です。

請願書をまだ提出されていない方は、1 月中でも間に合います！一人でも多くの署名をよろしく願いいたします。

インフルエンザに注意！

インフルエンザ流行のピークは 1 月から 2 月といわれており、ノロウイルスによる冬場の食中毒や感染症が流行するものこの時期です。

日頃から「手洗い、うがいの徹底」、「マスクの着用」、「栄養・睡眠を十分にとる」など感染予防に心がけてください。

また、発熱、おう吐、下痢などの症状がある場合は、透析へ行く前に必ず透析施設へ電話をするようにしましょう。



講演「臓器移植について考えよう」

12 月 11 日(日)サンシップとやまで、移植部が中心になり講演会「臓器移植について考えよう」を開催しました。これまでは主に会員、家族による「移植懇談会」を年 1 回続けてきましたが、今回は対象を一般の方にも広げ「講演会」として開催しました。

まず、富山県移植推進財団 移植コーディネーターの高橋絹代さんに、「臓器移植のエトセトラ」と題して最近の移植事情や移植に関する疑問を解説いただきました。次に、臍腎同時移植をされた方に、体験談「発病から移植、そして今」を通し、移植医療の素晴らしさを語っていただきました。最後には、移植推進財団 専務理事の飯田博行先生(済生会高岡病院長)に県内の移植医療の歴史も交え総括していただき、臓器移植を「受けた」「待っている」にかかわらず、参加した全ての方に考え、理解を深めていただく中味の濃い講演会となりました。

この日は平野部でも積雪があり、参加者は 30 名ほどでしたが、会場にはこれから生体腎移植を控える患者さんや親族の方が熱心に質問する姿が見られるなど、臓器移植に関する情報を求める方の多さが再認識されました。また、講演会の様子は当日のテレビニュースで紹介され、社会からの関心の高さもうかがえました。腎友会では、今後も移植推進財団と協力して臓器移植の推進に努めていきます。



三役会議

12 月 18 日(日)富山市内において会長、副会長、事務局長による三役会議を行いました。

会議では、理事の専門委員会(組織強化、企画、広報、災害対策)を活性化し、実効性のある会活動へつなげていくため、当面の課題や今後の取り組みについて討議されました。

その他、次回の理事会(2/19)で審議すべき事項についても話し合われました。

今回の三役会議での結論を踏まえ、1 月 22 日(日)に専門委員会を富山市総合社会福祉センターにおいて開きます。

青年部活動に関するアンケート実施

腎友会青年部では、平成 29 年度の行事計画にあたり、55 歳以下の会員を対象にアンケートを実施しました。

アンケートでは、これまでの行事に対する評価や今後力を入れる必要のある活動分野、希望する企画などについて 12 月末を目途にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。



今後の予定

- 新年あいさつ回り 1/4 行政関係他
- 全腎協理事会 1/21~22 東京
- 専門委員会 1/22 富山市総合社会福祉センター
- 第 36 回理事会 2/19 富山市総合社会福祉センター



おくやみ

- 金森 敏明 殿 厚生連高岡病院 享年 73 歳
 - 中野 善一 殿 個人会員 享年 56 歳
 - 新田 勝成 殿 長谷川病院 享年 79 歳
 - 池田 栄昭 殿 北陸中央病院 享年 71 歳
 - 浦口 陽子 殿 あさなぎ病院 享年 66 歳
 - 田近 ナツ子 殿 元町内科医院 享年 72 歳
 - 棚田 喜代子 殿 南砺市民病院 享年 92 歳
- 謹んでご冥福をお祈り致します